

GAPとは… Good Agricultural Practice の略。
直訳すると「良い・農業の・やり方」となり、
農場運営、食品安全、環境保全、労働安全、人権・
福祉などの持続可能性を確保するための取組のこと

家畜・畜産物GAP

農場運営

食品安全

環境保全

労働安全

人権・福祉

家畜衛生

アニマルウェルフェア

ヒヤリ・ハット及び農作業事故アンケートより…

農作業中に“ヒヤリとした”体験や農作業中の事故事例について、宗谷の農業者を中心にアンケートを行っています。アンケートは、ご自身や身近な人の体験について、その時の状況を自由に記載していただいています。

現時点（R4.9月）の回答40件の内25件が“牛”と関係していました。

今回は、牛にからむヒヤリ・ハット体験と事故事例をピックアップし、農作業安全対策について考えてみます。

※現在もヒヤリ・ハットのアンケート実施中です。

「宗谷農業改良普及センター 問い合わせフォーム」で検索、または上記QRコードから、声を聞かせてください！

ヒヤリ・ハット及び農作業



事故アンケート

↑ ↑ ↑

1.牛にからむ事故発生・危険を感じたのは“どんな時？”

“搾乳”と“牛の移動”の時に、危険を感じる人が多いようです。

搾乳(含 牛の追い込み) …7件

- ・搾乳中に、牛に足を踏まれた
- ・ミルクカー装着時に、牛に頭を蹴られた
- ・搾乳牛の隣の牛が急に寝て、潰されそうになった
他

牛の移動中 …5件

- ・牛を放牧地から牛舎に入れる時、牛と牛舎の壁に挟まった
- ・つなぎ牛舎で牛を移動する時に、隣の牛が暴れ出して、牛と柱に挟まれた
他

2.事故発生・危険を感じたのは“どんな牛？”

“発情牛”が4件と最も多く、“初産牛”“子牛”が各2件でした。

その他“搾乳していた隣の牛”“移動対象牛の隣の牛”など作業対象牛の隣の牛が危険牛となる事例もありました。

隣の牛にも
注意！



3.事故発生・危険を感じた“牛の行動は？”

“どつき・頭突き”が6件と最も多く、“蹴る”が4件でした。

牛の移動時に“走り出す”“逃げ回る”といった予想外の行動に危険を感じたとの声も聞かれました。

牛の行動

- ・どつく・頭突く…6件
- ・蹴る …4件
- ・踏む …2件
- ・暴れる…2件
- ・走り出す、逃げ回る、追いかけてくる…各1件
- ・その他(乗る、寝る、引っ張る)

4.その時、“人はどうなった？”

“挟まれ”が最も多く、牛と牛の他、牛と柱・壁・ストールとの間に挟まれたとの回答がありました。骨折したり、「一歩間違えると死んでいたかも…」といった声もありました。

人はどうなった？

- ・挟まれた・挟まれそうになった…7件
- ・蹴られた・踏まれた・倒された
- ・潰されそうになった・転んだ
- ケガ
- ・骨折…5件(内2件は肋骨骨折)
- ・肩を痛めた・内出血した

皆さんいかがでしょうか？「ある！ある!!」と思った人も多いのでは？
笑い話や武勇伝で終わらせないために、事故防止に向けて一緒に考えてみましょう。

5.ヒヤリ・ハットや事故発生の“原因は？”

アンケートでは、考えられる原因についても質問しています。

考えられる原因を以下の通りカテゴリー分けしてみると、「大丈夫だと思っていた」「ぼ～っとしていた」など自分の意識の問題とする回答が多く見られました。

最多

【原因】自分の意識の問題

- ・片締めしているのに、大丈夫だと思っていた
- ・牛と柱の間に立ってしまった
- ・背後の牛に気づかなかった
- ・ぼ～っとしていた
- ・作業に夢中で周りを見ていなかった
- ・確認不足(2件)

【原因】作業方法が悪かった

- ・ロープの持ち方が悪かった
- ・搾乳する体勢が悪かった(2件)

【原因】牛や道具

- ・牛がなつきすぎた
- ・発情牛だった
- ・もくしがボロかった

【原因】経験不足、知識不足

- ・発情牛の危険性を知らなかった



6.ヒヤリ・ハットや事故発生の原因から…具体的な事故防止対策を！

ヒヤリ・ハット体験は一步間違えると重大な農作業事故となります。農作業事故は最悪の場合、大切な人を失ったり、農場経営が存続できなくなることもあります。

ヒヤリ・ハットの原因を「自分の意識の問題（ぼんやりしてるからだ！など）」で終わらせず、「より具体的な事故防止対策」につなげることが大切です。

=ヒヤリ・ハット&事故体験から、事故防止対策策定までの流れ(例)=

STEP1

体験を共有

誰にでも起こりうる事として全員で共有

STEP2

要因や危険性について

意見交換 要因の洗い出しは解決策につながる！

STEP3

具体的な対策を

講じる 実行可能な行動計画やルールを作る

ヒヤリハット・事故体験	考えられる要因や危険性の洗い出し	対策
搾乳のためパーラーに牛を入れる時、牛に挟まれそうになった	<ul style="list-style-type: none"> ・発情牛や初産牛は、暴れたり、逃げたり、突然走ったりして危険 ・追い込みの時に、後ろに牛がいると挟まれる危険がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・発情牛や初産牛の特性を再確認し、全員で共有する ・追い込み時は牛の最後尾につく ・救急連絡先を処理室に貼り出す
牛移動の際、走り出したので、もくしをひっぱたらちぎれて転倒した	<ul style="list-style-type: none"> ・牛が急に走り出した ・もくしが古くなっていて、もろかった ・とっさにもくしを強く引っ張った 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動時の牛が予期せぬ行動をすることを、全員で共有する ・月1回、もくしの点検を行い、古いものは更新する

要因や対策は一例です。皆さんも他の要因と対策を考えてみて下さい！

まずは、ヒヤリハット体験について
家族・仲間と話してみよう



ヒヤリ・ハット体験を、労働安全対策の“種”にして、
事故のない農場運営につなげましょう。

身近なGAP情報 お問い合わせ先

宗谷農業改良普及センター 本所(中頓別町) 電話:01634(6)1414
北部支所(豊富町) 電話:0162(82)2119



過去の
GAP情報は
HPで！